

書道特別展

小坂奇石の大作展

席上揮毫の超大作 初公開！



席上揮毫の超大作「ざっけ こんじょう雑華巖浄」より「巖」

観覧料 常設展もご覧いただけます

一般 510円(400円)
高校・大学生 350円(280円)
小・中学生 250円(200円)

* ()内は20名以上の団体料金。

小・中・高校生は、土・日・祝日・長期休業中は無料です。高齢者(65歳以上)と各障害者手帳をお持ちの方は半額です。

主催 徳島県立文学書道館
後援 徳島県教育委員会 徳島新聞社
NHK徳島放送局 四国放送



第17回徳島県民文化祭共催事業

関連事業 10月25日(日)

講演会 13:00~13:50

講師 山本大悦氏(璞社副会長)

* 申し込みが必要です。

往復はがきに、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・「小坂奇石展講演会希望」とご記入の上、お申し込みください。

当館1階受付でも申し込めます。

作品解説 14:10~15:00

講師 江口大象氏(璞社会長)

* 当館2階講座室で行います。

お申し込みは不要です。

2015年

10/3(土)~11/11(水)

休館日 月曜日 10/12は開館し翌13(火)休館
開館時間 9:30~17:00

言の葉ミュージアム

徳島県立文学書道館

〒770-0807 徳島市中前川町2丁目22-1

電話 088-625-7485 FAX 088-625-7540

URL <http://www.bungakushodo.jp>



「神爽」 65.1×124.1 cm 80歳筆



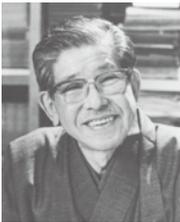
『従容録』一節 102.8×118.4cm 74歳筆 個人蔵

徳島県海部郡美波町に生まれた昭和を代表する書家・小坂奇石。生前「書家は線の行者ぎやうしやとしての苦行を怠つてはならない」と述べ、「線の行者」と称されました。深遠で生気に満ちた線、独創的な字形、そして高潔な精神が一体となった書作品は、今もなお人々を魅了し続けています。

このたびの特別展は、展覧会初公開となる縦3メートル余りの席上揮毫の超大作をはじめ、個人及び当館所蔵の大作28点を展示します。奇石の大字や大作は、氣迫がみなぎり、観る者を圧倒します。大作の力、奇石の神髄を存分に味わっていただきたいと思えます。



蘭亭集序(草稿) 12幅のうち1・2幅 各136.6×53.0cm 76歳筆



小坂奇石 こさか きせき

1901～91年（明治34～平成3年）
 名は光太郎。16歳で黒木拝石に師事し、55年に璞社を創設した。現代書道二十人展には第1回より出品。70年日展において文部大臣賞、81年には日本芸術院恩賜賞・芸術院賞を受賞した。



交通アクセス（JR徳島駅から）

徒歩 約15分

JR徳島駅西側のポッポ街を抜け右折します。踏切と助任川を渡り、3つ目の信号交差点を右折し約300m。徳島中学校東隣。

バス

〔徳島市営バス〕7番乗り場「川内循環線(右回り)」に乗りし「吉野本町2丁目」下車、徒歩約5分。
 〔徳島バス〕2番乗り場「前川経由」に乗りし「吉野本町2丁目」下車、徒歩約5分。

タクシー・自動車 約5分

国道192号線、藍場町交差点を北進、助任川を渡り4つ目の信号を右折し約300m。当館北側に駐車場があります(43台・大型バス2台)。

展示のお知らせ

開催中～11/11

2015年 夏・秋の書道収蔵品展
 ー新収蔵の書I

11/13～2016年2/13

2015年 秋・冬の書道収蔵品展
 ー徳島ゆかりの書Iー江戸～昭和(戦前)

12/5～13

徳島県高校生 第5回 書道席書創作コンクール展

12/12～27

書道企画展「今年の一文字」展 **2015**

2016年2/16～3/21

書道特別展 屏風の書ー中林梧竹と明治の諸家ー
 書道企画展 紙にこだわった書道展